

2024年6月26日

K u d a n 株式会社

ビジネス映像メディア「PIVOT」にて
Kudan CEO のインタビュー動画が公開されました
～NVIDIA も頼る超ディープテック 空間を直感認識する「機械の眼」～

K u d a n 株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役 CEO：項大雨、以下 Kudan）は、ビジネス映像メディア「PIVOT」にて、人工知覚技術の最前線を走る Kudan の CEO 項のインタビュー動画が公開されましたのでお知らせいたします。

本動画では、Kudan が開発するディープテックである人工知覚技術に焦点を当て、その可能性と未来展望について解説しています。



【動画 URL】

<https://youtu.be/IOS09KlFq9A>

【主な動画内容】

●ディープテックの定義と Kudan の技術

ディープテックは、自然科学分野の革新技术であり、社会課題解決の潜在力を持つ技術です。Kudan は、人工知覚技術を駆使し、機械に目を与えて 3 次元空間を認識させることにより、ロボティクス、自動運転、ドローン、メタバース、デジタルツインなど多岐にわたる分野で基盤技術として活用されています。

●具体例・活用事例

Kudan の人工知覚技術は、NVIDIA やインテルを含めた大手企業との協業でも具現化されています。自律走行ロボットの開発や自己位置認識機能の提供、さらには NASA や EU との宇宙開発・自動運転分野での応用例も紹介されており、その技術の幅広い適用可能性を紹介しています。

●デジタルツインへの応用

Kudan の技術は、フィンランドや米国の林業における森林のデジタルデータ化や、都市のデジタルツイン構築にも活用されています。これにより、災害時の浸水予測や物流ルートの最適化などが可能になり、より効率的で安全な社会インフラの実現に寄与します。

●未来展望

最終的には、人工知覚技術と人工知能の融合により、人工知能が現在のバーチャル空間のみならず、リアルな世界を認識し高度な判断を下すことができるようになることが期待されています。Kudan はこの分野で唯一無二の存在を目指し、グローバルに事業を展開し続けます。

革新技術の最前線に立つ Kudan の挑戦と未来を、ぜひご覧ください。

【K u d a n株式会社について】

Kudan は、人工知覚（AP）のアルゴリズムを専門とする深層技術の研究開発企業です。人工知覚（AP）は、人工知能（AI）と相互補完する技術として、機械を自律的に機能する方向に進化させるものです。現在、Kudan はロボティクス・デジタルツイン・自動運転などを中心に幅広い次世代ソリューションに対して技術ライセンスを提供しています。

詳細な情報は、Kudan のウェブサイト (<https://www.kudan.io/jp/>) をご参照ください。

■会社概要

会 社 名： K u d a n株式会社

証券コード： 4425（東証グロース）

代 表 者： 代表取締役 CEO 項大雨

■お問い合わせ先は[こちら](#)